

道内全ての一般道路で使えるようになった 木製ガードレール

性能部 構造・環境グループ 今井良

研究の背景・目的

〔北海道産木材利用協同組合からのH25年度の受託研究による成果〕

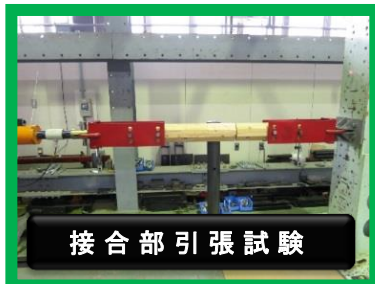
平成22年に施行された「公共建築物等木材利用促進法」に「木製ガードレールの活用」が明記されたことから、道内においても観光地などを中心として木製ガードレールの需要が期待されています。しかし、21年度に開発した北海道型木製ガードレールは土中に支柱を埋め込む製品であり、橋梁や擁壁などのコンクリート構造物上には設置できず、一部の道路において木製ガードレールを活用することができない状況にありました。そこで、道内全ての一般道路で活用できるように、構造物上に設置できる北海道型木製ガードレールの開発に取り組みました。

研究の内容・成果



横梁の曲げ試験

- ・適正な部材寸法の検討
- ・効率的な木-鋼複合化の検討



接合部引張試験

- ・安価な接合部の検討



引き倒し試験

- ・変形性能の確認
- ・強度性能の確認

実車衝突試験



衝突角度20° 衝突速度60km/h



普通乗用車(1t)



衝突角度15° 衝突速度36km/h



大型貨物車(20t)

合格

※一般道路に設置する車両用防護柵の上位規格

成果の普及状況

構造物用 B種※ 実用化

北海道型木製ガードレールは、道民の森（当別町）、るもっぺ憩いの森（留萌市）など、道内8箇所で使用されています。付近をお通りの際には、是非お立ち寄りいただき、実物をご覧ください。

〔設置箇所の地図〕

<https://mapsengine.google.com/map/viewer?mid=zwA739CFwgdk.keTYam7rPibk>



←QR.コード
携帯電話やスマート
フォンで読み取れます

●製品の価格や購入に関するお問い合わせ先
北海道産木材利用協同組合 (<http://www.doumoku.or.jp/>)
TEL:0166-61-3776 FAX:0166-61-3615